

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年3月 31日

事業所名: 児童デイサービス結らんど松本

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	2	・活動時のスペースが確保できる様配慮し危険がない様に環境整備を徹底する	
	2	職員の配置数は適切である		5	4	・児童の人数に合わせ、担当職員を配置している。	・職員求人を継続中
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		2	・その都度、必要な設備を整えていく	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	2		・問題点や課題が継続的に改善出来る様に実施していきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1			・保護者のアンケート結果を職員間で共有し改善につなげる
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2			・継続して行っていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4	5	・検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	1	7		・職員の支援に対する困り感を把握し普段の支援に繋げられる研修を実施したい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		1	・毎月、モニタリング会議・支援会議を実施	・継続して行っていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3		・無理なく楽しめるよう、考慮しながら計画を立てている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	3		・児童からの提案も聞くようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	3		・休日は、平日に実施できない行事を取り入れている	・常に情報収集を行う
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	3		・本人の意向を重視しながら、無理なく達成できる目標設定を行う	・無理なく成長につなげられる内容、また、本人が楽しめる、得意とする内容も取り入れ自己肯定感を高める計画書の作成を行う
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	3		・保護者からの連絡や注意事項等の連携を実施	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	2	・支援中気になる事があった際は支援の振り返りを行っている	・前日、話し合った事を全職員に連携、改善点等、再度話し合い良い支援が出来るように改善したい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		・個別記録は毎日実施している	・問題点等を全職員で把握し改善できるように努めたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			・毎月モニタリング会議を実施し計画書の作成を行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	5				
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1		・主に管理者が参加	・職員のスキルアップの為に管理者と一緒に参加出来る機会を増やしていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	1		・送迎時にクラス担任や保護者から情報を提供してもらっている	

この連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	6	1		・該当児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	5			・必要に応じて実施	
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	1			・必要に応じて実施	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	5	コロナ禍なので機会が作れない	・コロナ感染の状況を確認しながら、検討する	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			9	コロナ禍なので機会が作れない	・コロナ感染の状況を確認しながら、検討する	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			3	5	コロナ禍なので機会が作れない	・コロナ感染の状況を確認しながら、検討する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	3				・保護者との連携を密にしながらかつ継続して行っていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	4			・研修や事業所ミーティング等を通して、質の向上に努める
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9					・継続して実施していく
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1			・表情、情緒面等、配慮しながら確認を行い気になる事がある際は面談の実施や送迎時に話せる時間を調整している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	7			・コロナの状況を確認しながら実施を検討したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1			その都度、対応している。	・苦情があった際、管理者が面談を実施する等、対応していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9				・月中旬次月の行事予定を発行 ・松本だよりを月1回発行	
	35	個人情報に十分注意している	8	1				・継続し行っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1			・表情、情緒面等、配慮しながら確認を行い気になる事がある際は面談の実施や送迎時に話せる時間を調整している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	7			・コロナの状況を確認しながら実施を検討したい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	2		・緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等、職員への周知済み	・緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等、保護者への周知を行い把握してもらう
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9				・年2回は訓練の実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	4	2		研修会の実施は、まだ、無いが、対応についての話し合いは実施している	・虐待防止の研修会を検討
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	4	1		・その様な場面あったことがない ・拘束も行う事がない	対象児童なし。 身体拘束は行わない支援を心掛けている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	1		・契約時に保護者から、情報をもらい、全職員へ連携	・継続して行っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	4	4		・ミーティング等で情報共有を行い対策を話し合っている	・口頭での連携になりがちなので、報告書の作成を徹底し全職員で問題点等を話し合い注意喚起を行う

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名: 児童デイサービス結らんど松本

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	4	・活動時のスペースが確保できる様配慮し危険がない様に環境整備を徹底する	
	2	職員の配置数は適切である	2	7	・事業所内へ職員紹介を掲示。	・職員求人継続中
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	2	・その都度、必要な設備を整えていく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	2	・支援終了後、マット・玩具等は毎日、アルコール消毒を実施。 ・床は転倒しても衝撃が少ない様、弾力のあるマットを敷いている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	5	・職員間で共有を行っている。	研修会を開き意識づけをする
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1		・保護者のアンケート結果を職員間で共有し改善につなげる ・保護者の意向を把握し、職員で共有し改善していきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	6		・事業所の評価表及び保護者の評価結果を職員間で共有し改善につなげていく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	8		・検討中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	8		・職員の支援に対する困り感を把握し普段の支援に繋がられる研修会を検討
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		・児童のおかれている環境や発達の状況を考慮しながら、職員で課題をあげ、話し合を実施 ・保護者との連携を密にしその都度、話し合を行う	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	・利用児童が無理なく楽しめるよう、考慮しながら計画を立てている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	2	・児童のおかれている環境や発達の状況を考慮しながら、職員で課題をあげ、話し合を実施 ・保護者との連携を密にしその都度、話し合を行う	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	2	・無理なく成長につなげられる内容、また、本人が楽しめる、得意とする内容も取り入れ自己肯定感を高める計画書の作成を行う	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	・情報収集を行い新しい事を取り入れながら継続していく	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	・平日は利用時間が短いため、平日に実施できない行事を取り入れている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	8	1	・職員全体でのモニタリング会議、支援会議を実施	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	4	・保護者からの連絡や注意事項等の連携を実施	・継続していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4	・支援中気になる事があった際は支援の振り返りを行っている	・継続していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		・職員全体で毎日の記録を実施し問題があれば改善案を話し合う	定期的に確認を行う。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		職員全体でのモニタリング会議・支援会議を実施		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		・主に管理者参加	・職員のスキルアップの為に管理者と一緒に参加出来る機会を増やしていく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	4	・必要に応じて実施	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	7		・該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	7		・該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	5	・必要に応じて実施	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	・必要に応じて実施	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	6		・コロナ禍が落ち着いたら前向きに検討していきたい
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	8		・コロナ禍が落ち着いたら前向きに検討していきたい
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	8		・コロナ禍が落ち着いたら前向きに検討していきたい
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1	・送迎時、保護者との連携を密にし、気になることは、その都度確認している	情報の共有を行う。 (職員間)
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	7		必要時相談や助言を行っているが、今後はプログラムの支援を検討していきたい。 研修会へ参加。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1	契約時に説明を行っている	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			・面談時に説明、継続して行っていく
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・送迎時、保護者との連携を密にし、気になることは、その都度確認している	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7		・コロナ禍の中で実施できていない。コロナの状況を確認しながら実施していきたい
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		・相談の申し入れがあった際は、管理者が対応	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	・月中旬次月の行事予定を発行 ・松本だよりを月1回発行	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	8	1	・継続し行っていく	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	8	・表情、情緒面等、配慮しながら確認を行い気になる事がある際は面談の実施や送迎時に話せる時間を調整している	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8		・コロナの状況を確認しながら実施を検討したい
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	2	・緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等、職員への周知済み
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		9		・年2回は訓練の実施。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		9		・契約時に保護者から、情報をもらい、全職員へ連携	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		7	2	・契約時に保護者から、情報をもらい、全職員へ連携	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		3	6		・口頭での連携になりがちなので、報告書の作成を徹底し全職員で問題点等を話し合い注意喚起を行う
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		1	8	研修会の実施は、まだ、無いが、対応についての話し合いは実施している	・虐待防止の研修会を検討
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		6	3	・その様な場面あったことがない ・拘束も行う事がない	対象児童なし。 身体拘束は行わない支援を心掛けている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年3月 31日

事業所名 児童デイサービス結らんど松本

保護者等数(児童数) 23 回収数 19 割合 82.6 %

		チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19				・活動時のスペースが確保できる様配慮し危険がない様に環境整備を徹底する
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	3			・事業所内へ職員紹介を掲示。 ・職員求人継続中
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	2			・その都度、必要な設備を整えていく
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19				・児童のおかれている環境や発達の状況を考慮しながら、職員で課題をあげ、話し合を実施 ・保護者との連携を密にしその都度、話し合を行う
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	2		・いつも月間スケジュールを見るとイベントがたくさんあり、外出好きの息子にはすごく合っていると思う 今後も継続して欲しい	・情報収集を行い新しい事を取り入れながら継続していく
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	8	3	・コロナ禍等もあり仕方ない	・コロナ禍が落ち着いたら前向きに検討していきたい
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1			・継続して実施していく
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	19				・保護者との連携を密にしながら継続して行っていく
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	3			・保護者の方から、相談がある場合や児童の様子が気になる際は、面談の実施や送迎時に話せる時間を調整する
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	7	6	・コロナ等もあり仕方ない ・コロナ禍で難しいと思うので	・コロナ禍が落ち着いたら前向きに検討していきたい
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	1			・苦情があった際、管理者が面談を実施する等、対応していく
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19				・統一した支援が出来るよう面談等で確認していく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	3		・毎月松本だよりがありがたい。お忙しい中、ありがとうございます。	・「松本だより」を毎月、発行している
	14	個人情報に十分注意しているか	19				・継続し行っていく
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	5	1	・災害時の避難経路、保護者への連絡方法等の話し合いを検討する	・面談時説明(確認)を行っている。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	8			・災害時の避難経路、保護者への連絡方法等の話し合いを検討する
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1		・いつも、楽しみにしてます	・安心して楽しく過ごせる環境づくりを継続して行っていく。
	18	事業所の支援に満足しているか	19			・感謝しかありません ・満足しています。ありがとうございます ・送迎すごく助かっています	・継続して行っていく。 ・研修や事業所ミーティング等通して、質の向上や統一したサービスの提供(見直し)に努める。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年3月 31日

事業所名 児童デイサービス結らんど松本

保護者等数(児童数) 1 回収数 1 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	1					・活動時のスペースが確保できる様配慮し危険がない様に環境整備を徹底する
	2 職員の配置数や専門性は適切である	1					・事業所内へ職員紹介を掲示。 ・職員求人を継続中
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1					・その都度、必要な設備を整えていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	1					・その都度、必要な環境を整えていく
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	1					・児童のおかれている環境や発達の状況を考慮しながら、職員で課題をあげ、話し合を実施 ・保護者との連携を密にしその都度、話し合を行う
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	1					・児童のおかれている環境や発達の状況を考慮しながら、職員で課題をあげ、話し合を実施 ・保護者との連携を密にしその都度、話し合を行う
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	1					・継続して行っていく
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	1					・情報収集を行い新しい事を取り入れながら継続していく
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				1		・コロナ禍が落ち着いたら前向きに検討していきたい
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	1					・面談時に説明、継続して行っていく
適切な 支援の 提供	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	1					・面談時に説明、継続して行っていく
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	1					・研修や事業所ミーティング等通して、質の向上に努める
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1					・保護者との連携を密にしながら継続して行っていく
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	1					・継続し行っていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1					・コロナ禍が落ち着いたら前向きに検討していきたい
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	1					・保護者の方から、相談がある場合や児童の様子が気になる際は、面談の実施や送迎時に話せる時間を調整する

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	1					・保護者との連携を密にし
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	1					・ホームページ等で実施報告を行っていく。 ・「松本だより」を毎月、発行している
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	1					継続して行っていく。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1					・面談時説明(確認)を行っていく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている				1		・年2回は訓練の実施。 ・「松本だより」等で実施報告を行っていく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	1					・安心して楽しく過ごせる環境づくりを継続して行っていく。
	23	事業所の支援に満足している	1					・継続して行っていく。 ・研修や事業所ミーティング等を通して、質の向上や統一したサービスの提供(見直し)に努める。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。